

SISTER
CITIES
NEWS

姉妹・友好都市ニュース

International Friendship Association of Ibaraki

vol.42 2004.5.15

茨木市国際親善城市協会



幼少期を茨木で過ごしたノーベル賞作家 川端康成の旧邸の模型を見学し、説明を受けるJICA大阪国際センター研修員と市民の皆さん = 3月20日のふれあい交流で [本文は3ページ]

目次

- ミ市から20周年記念品の作者来茨、ミ市への訪問団参加者募集 2
- JICA研修員とのふれあい交流、姉妹都市活動室、青少年活動室 3
- 2004年国際交流の集い、英語ハイクコンテスト 4・5
- 日本語ボランティア養成講座開催中、実用日本語学習会、ホストファミリーになりませんか? 6
- 茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業基金、同写真展、内海町宿泊補助制度 7
- 2004年度行事予定、2003年度国際交流の足あと、会員募集 8

ミネアポリス市から
20周年記念品の作者来茨

ミネアポリス市と茨木市の姉妹都市提携20周年記念の「双珠の鐘」を製作されたカレン・ソntagサテルさんご夫妻が3月25日に来茨され、ミネアポリス委員会の委員の皆さん等と懇談されました。

カレンさんは、丹波の立杭焼きの見学と書道用品などの購入のため来茨されたもので、今回が2回目。3年前には「双珠の鐘」のモデルとなった銅鐸の鋳型を見に来られ、作品の参考にされました。「双珠の鐘」は、ミネアポリス市のミシシッピー川沿いに建築され、ミネアポリス市民の憩いの場となっています。〔写真左下〕



カレンさん(右から2人目)とジャックさん(後列左から2人目)



双珠の鐘

立杭焼きの見学先で

英語レッスンやキャンプ交流など

姉妹都市・ミネアポリス市への訪問団

参加者募集

「茨木市民親善訪問団」

内容 姉妹都市間の友情を祝う茨木・ミネアポリス・デー(7月18日)に参加し、ミネアポリス市の観光名所巡りや「ミネアポリス水上祭」を楽しむ。

期間 7月16日(金)～23日(金) 8日間

旅程 関西国際空港～ミネアポリス(6泊：うちホームステイ2泊)～関西国際空港

募集人員 約20人

対象 協会会員または市内在住・在勤・在学のかた

旅費 約29万円(訪問団15人以上の場合)

「英語学習ツアー」

内容 ミネアポリス芸術デザイン学校の学生寮(個室)に宿泊しながら、ミネソタ大学の語学教育機関であるミネソタ英語センターの教師から、午前中は講義、午後は実地活動に分けて、ミネアポリスの交通機関、歴史や文化など、授業英語とは別の形で英語を学ぶ。

期間 7月9日(金)～25日(日) 17日間

旅程 関西国際空港～ミネアポリス(15泊：うちホームステイ2泊)～関西国際空港

募集人員 15人

対象 18歳以上の協会会員または市内在住・在勤・在学のかた

旅費 約24万円(訪問団10人以上の場合)

「キャンプ交流訪問団」

内容 ミネソタ州のロングレイク自然保護センターで、カヌーやアーチェリーなどのスポーツ活動をアメリカの青少年とキャンプ生活を体験する。

期間 7月24日(土)～8月3日(火) 11日間

旅程 関西国際空港～ミネアポリス(8泊：うちキャンプ5泊、ホームステイ2泊)～フロリダ(1泊)～関西国際空港

募集人員 約20人

対象 市内在住・在学または協会会員の中・高校生

旅費 約29万円(訪問団20人以上の場合)

参加ご希望の方は、協会事務局までご連絡を!

市民とJICA大阪国際センター研修員との ふれあい交流

市内西豊川町にあるJICA大阪国際センターの研修員と一般公募の市民が市内公共施設を見学し、相互の交流を図る「ふれあい交流」を3月20日に行いました。



草の根交流で心温まる時間を！

通訳ボランティア(IIIN) 桜林 青子

当日はお天気こそ肌寒く時折雨も混じる空模様でしたが、ふれあい交流では大変心温まる時間を過ごしました。

今回訪れたのは川端康成文学館と消防本部。文学館では展示物を見るだけでなく、熱心に質問するJICA研修員の姿が印象的でした。消防本部



ドキドキのはしご車体験

Ibaraki Intercultural Network(IIIN)

姉妹都市活動室

姉妹都市活動室では、英語力や国際感覚の向上、異文化理解のため、ゲストスピーカーを招いて、英語によるスピーチを聞いたり、ディスカッション等を行っています。また、JICA研修員、阪大留学生や茨木市近隣に在住の外国人との交流を楽しんでいます。

興味のある方は、気軽に見学に来てください。

- ・例会 時間：第1木曜日 午前10時～正午
第3土曜日 午後2時～4時

場所：クリエイトセンター

※変更になる場合があるため、協会事務局へお問合せください。

- ・年会費 正会員：2,000円(18歳以上)
準会員：1,000円(中・高校生)



盛り上がったグループ発表

では整備されたシステムを目の当たりにする一方で実際に救急車やはしご車に乗り込む機会もあり、緊張感の中にもどこか童心に帰る楽しさがありました。

その後、JICA大阪国際センターにて1日を締めくくる懇親会、昼食時に練習した各グループの歌や踊りは、やがてグループを越え全員で踊るまでに盛り上がりました。まさに交流の成果が形になって見えた瞬間でした。

今回初めて参加させていただきましたが、JICA研修員との国を越えた交流ばかりでなく、市民の方々と出会い、茨木を改めて知る上でも大変貴重な機会でした。また、こうして草の根の身をもっての交流を積み重ねることは、きっと世界の平和にもつながるはず…そんなことをひしひしと感じた1日でした。

未体験の方は次の機会にぜひ！

We Are Friends!

青少年活動室

英語で自己紹介やクッキング、ハロウィンパーティーなど、毎月違ったテーマについて、ゲームやクイズを使って、講師の久徳ウェンディさんと一緒に英語に親しむ“*We Are Friends!*”は、原則第3日曜日にクリエイトセンターで行っています。小学校4年生から中学校3年生まで、無料で参加できますので、英語を習ったことのない人もぜひ来てください！



ハロウィンパーティー

2004年国際交流の集い

日本語スピーチやファッションショーで交流

1月31日、茨木市福祉文化会館で「2004年国際交流の集い」を開催、市民と市内在住外国人約140人が参加し、交流を図りました。

3部構成の第1部は外国人による日本語スピーチ発表会。大勢の観客が見つめる中、世界7か国、総勢10人の発表者が、舞台中央でスピーチ発表をしました。皆さん、初めは緊張の面持ちでしたが、慣れてくるともう止まらず、持ち時間オーバーの方が続出の“熱い”スピーチとなりました。

世界の芸能文化の紹介などを行った第2部では、バングラデシュ、中国、タイの民族衣装のファッションショーと外国人の着物体験を行い、普段見ることのできない各国の素晴らしい衣装と日本人顔負けの着物姿に全員の目は釘付けでした。続いて、ゆったりとした流れるような体の動きから、急に素早い動きに変わる迫力満点の太極拳の演武や、暖かみのある柔らかい音色の胡弓の演奏などがあり、中国の伝統に酔いしれたひとときとなりました。

第3部の交流会では、スピーチ発表者やファッションショーの出演者などが参加者と交流を行い、終始和やかな雰囲気での集いでした。



胡弓の演奏



Let's 国際交流

朱 曉梅

日本に来て、早や6年目になりました。茨木市国際親善都市協会が主催した「国際交流の集い」に参加したのは3回目になりました。本当にたくさんの素晴らしい方々との出逢い、学び、そして感動。私にとって、日本の生活には欠かせない大切な一部分でした。

今、学校教育の一環として、国際理解教育が盛んです。私達地域在住外国人にも参加させていただいて、皆さまと一緒に、日本のことと自分の国のことについて、楽しくコミュニケーションできて、本当に良かったと思います。今後も、地球住民意識を持って、積極的に地域国際交流活動に参加していきたいと思っています。

そして、ずっとお世話になっている「実用日本語学習会」の皆様へ深く感謝申し上げます。「実用日本語学習会」の支援者、保育係の方、学習者以外の方も、ぜひ一度市役所南館8階の国際交流サロンに来てください。Let's 国際交流！



“天女の舞”を披露



気迫のこもった太極拳



交流会



私と図書館

トモンジガル

私は「国際交流の集い」で日本語スピーチの発表をした。その時、多くの人が自分のふるさとを語っているのを聞き、私もモンゴルの草原と移動の図書館を思い出した。

モンゴルの草原には移動の図書館があった。1ヶ月に1回か2回くらい、約束した所に来て、地元の老人や子どもたちが本、雑誌を読み、借りることができた。その日は、みんな図書館の車がつ来るかなと朝から待って幸せな気分になる。私は図書館に毎日通って本が読めるようになることを願った。

昨年、日本に来た時、日本の社会をあんまり知らないし、友達もいないし、ほんとうにむずかしいことであった。ある時、子どもと一緒に毎日図書館に行って、本を読むがあまり分からない。けれども、1回、2回と読むうちにだんだん分かるようになった。図書館にはいろいろな種類の本や雑誌、新聞が並んでいて、自分の好きな本をいつでも自分で選べて読むことができる。それは、ほんとうに自分の小さい時の夢のなかの図書館と同じであった。

私にとって、図書館はモンゴルでも日本でも私をいやしてくれる場所であった。



ハイク コンテスト

happiness(幸)をテーマにした103句のハイクがミ市から送られてきました。選考は、happinessを擬人的にとらえたもの、他の対象との取り合わせの面白いもの、またhappiness全体の持つ意味を際立たせたものが、優秀作品として選ばれております。各部の優秀作品をご紹介します。

翻訳：吉村 侑久代(朝日大学経営学部助教授)

【幼稚園・小学生の部】 Tatiyonna Robinson

Holding a kitten,
Its fur feels like soft feathers.
She smells like cookies.

子猫を抱くと
毛は柔らかい羽根の感じがする
クッキーの匂いもね

【中学生の部】 Destiny Rose

Me I have a place
A place where I am happy
My place is my soul
わたしの大事な居場所
わたしが幸せに思うところ
それはわたしの心

【高校生の部】 Michael Thompson

Lazy dog sleeping,
With sunlight through the window,
Happy on the floor.
物憂げな犬の眠り
窓からさしこむ陽光を遊び
床の上で幸せ

【成人の部】 Rick Fournier

Under bright streetlights
Laughing children with wet tongues
Catch drifting snowflakes
街灯の下で
子どもらは湿った笑い声で
ヒラヒラ舞う雪をつかまえる

日本語ボランティア養成講座

開催中

在住外国人の日常生活支援を目的とした実用日本語学習会も、現在13期になり延べ370人の方が受講されています。

その日本語支援の基礎知識や教え方等を学ぶ「日本語ボランティア養成講座」が今年の1月から開かれています。そこで学ばれている受講生の方の声を紹介します。

少しでも手助けできたら

受講生 井上 宏一

老夫婦？2人だけの我が家には結構来客が多い。趣味を通じての友人たち。また外国の人も良くみえる。私も英語を勉強している。今日の集いの会話はすべて英語で、という日もある。

昨年、市の広報でこの講座を知り、あっ、これだ、と感じた。今までは自分の英語学習中心に外国の人たちと接していたけれど、反対の立場になってみよう、そこから英語学習のヒントを得よう、さらに多くの友人も生まれるはずだ、できたら自分でもボランティアをしてみたい、ここは日本だ。そんな思いで澤田先生の講座に出席した。

初回のテーマは、活動の意味を再考、異文化理解。この点では自分が日ごろ考え一部実行してい

る部分と非常に近かったので、しめしめ、大丈夫かもしれないなと気を良くしたが、何の何の、2回以降、あれ、日本語ってこんなに難しいものだったっけ、助詞って、形容詞って、敬語って、うわー、これを学習する外国人は相当大変だろうな、これを教えるとしたらどうしよう、とても無理だ、講座を受けるだけにしておこうと気後れた。でも、学習会の現場を見学し、各国の人たちに熱心に指導しているボランティアの人たちの光景を見てごく自然な雰囲気を感じた。ハートだな、よし、日本語を勉強し直してみよう、少しでも手助けできれば、と今、不安と期待が交錯している。



ホストファミリーになりませんか？

協会では、姉妹・友好都市からの訪問者やJICA大阪国際センター研修員などを家庭に受け入れ、家族とともに生活するホームステイや外国の方を家庭に招いて交流を深めるホームビジット(日帰り)を通じて、日本での生活習慣をはじめとする様々な日本文化に触れられる機会を提供していただけるホストファミリーを募集しています。

ホストファミリーの登録に際して、制限はありませんが、善意かつ無償で責任を持ってお世話していただける方をお願いしております。

詳しくは、事務局までお問い合わせください。

Let's learn Japanese together!

実用日本語学習会

「実用日本語学習会」では、日本語を母語としない方を対象に、マンツーマンで日本語学習の支援を行っております。

また、学習支援者も同時に募集していますので、興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください！

と き：《木曜クラス》午後1時30分～3時

《金曜クラス》午前10時～11時30分

ところ：市役所南館8階 国際交流サロン

費用：1,500円(テキスト代は実費)

※木・金曜両方に参加の場合は、3,000円

問合せ：新山宅 TEL.090-3868-1346

茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業基金 青少年のスポーツ交流等に助成

茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業基金では、青少年のスポーツ・文化交流事業の推進を図るため、国内外を問わず協会が後援する交流事業等に対し、助成をしています。

平成15年度に助成された事業を紹介いたします。

●内海中バスケットボール部受入【63,000円】

国内姉妹都市・内海中学校のバスケットボール部15人が、茨木市内の中学校(豊川中・北中・三島中・天王中)のバスケットボール部と親善試合を通じて交流を深めました。

●内海中サッカー部受入【79,000円】

内海中学校のサッカー部21人が茨木市内の中学校(天王中・南中・平田中・三島中)のサッカー部と親善試合を通じて交流を深めました。

●姉妹都市交流キャンプ(中学生リーダーキャンプ)受入【88,500円】

内海中学校の1年生11人が茨木市の銭原にある青少年野外活動センターで5泊6日のキャンプ生活を通して本市の子どもたちと交流を深めました。〔写真下〕



火を起こして、食事の準備

●第2回チアリーディング世界選手権大会【330,000円】

イギリスのマンチェスターで行われた「第2回チアリーディング世界選手権大会」チア・オールフィメールチームに選ばれた、梅花女子大学チアリーディング部等が同大会に出場し、昨年引き続き優勝されました。

●姉妹都市・友好都市との書画交換【25,500円】

茨木市内幼稚園・小学校・中学校の子どもたちの絵画や書を、姉妹都市・ミネアポリス市、友好都市・安慶市、国内姉妹都市・内海町に送付しました。

市が内海町宿泊施設利用者に補助

姉妹都市内海町との交流促進を図るため、内海町の宿泊施設を利用する市民の皆さんに対し、宿泊費用の一部を市が補助する制度があるのをご存知ですか？

補助額(1泊)は、中学生以上3,000円、小学生1,500円で、1人につき年間2泊分まで補助されます。詳しくは、市民活動推進課へ、または茨木市ホームページをご覧ください。

青少年交流の写真展に 多数の来場者

茨木カンツリー倶楽部助成事業

3月18日から22日まで、平成15年度に茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成金を受けた交流事業の写真展を茨木市立中央図書館で開催しました。

上記事業の写真約30点が展示され、図書館を訪れた市民が見入っていました。



展示された写真に見入る市民

2004年度 行事予定

平成16年(2004年)

- 5月・内海町で『小豆島オリーブマラソン』開催
 - ・ミネソタ州コンコーディア日本語村へキャンプカウンセラー出発
- 7月・『ゴルフコンペ』開催
 - ・ミ市へ『市民親善訪問団』・『英語学習ツアー』・『少年サッカーチーム』・『キャンプ交流訪問団(写真右)』派遣
- 9月・JICA研修員との『ふれあい交流』実施
- 11月・安慶市へ『市民親善訪中団』派遣

- ・『英語スピーチ大会』開催
- ・内海町へ『市民訪問団』派遣

平成17年(2005年)

- 2月・『国際交流の集い』開催
- 3月・JICA研修員との『ふれあい交流』実施
 - ・安慶市へ『スポーツ親善訪中団』派遣



前回の『キャンプ交流訪問団』

2003年度 国際交流の足あと

平成15年(2003年)

- 6月・ミネソタ州コンコーディア日本語村で江尻優美さん、内田智子さんカウンセラーとして日本語・日本文化を指導
- 7月・「内海中学校バスケットボール部」一行18人、「内海中学校サッカー部」一行28人来茨
- 9月・「JICA大阪国際センター研修員とのふれあい交流」で39人参加
- 10月・ミネアポリス水上祭女王など一行4人来茨



中学校を見学するJICA研修員

- 11月・「JICA地方自治体行政コース」研修員のホームビジット実施(写真上)
- ・「内海町への市民訪問団」一行22人内海町訪問

平成16年(2004年)

- 1月・「国際交流の集い」に約140人(外国人40人)参加
- 3月・「JICA大阪国際センター研修員とのふれあい交流」で43人参加
 - ・ミ市姉妹都市協会理事カレン・ソンググサテル夫妻来茨

● 会員募集 ●

本協会では、姉妹・友好都市をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方々の入会をお待ちしています。

会員には、年2回発行する協会報の送付や、協会が催す交流行事のご案内をいたします。

〈年会費〉 個人会員(一般) 2,000円
(学生) 1,000円

〈申込先〉 協会事務局(TEL.620-1604)

編集・発行

茨木市国際親善都市協会

〒567-8505

茨木市駅前三丁目8番13号

茨木市市民生活部市民活動推進課内

TEL.(072)620-1604 FAX.(072)622-7202

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。